

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 香川県立高松桜井高等学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒761-8076

香川県高松市多肥上町 1250 番地

Website : <http://www.kagawa-edu.jp/sakrah02/index.html/>

児童生徒数：男子 318 名 女子 426 名 合計 744 名

児童・生徒の年齢 16 歳～18 歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

④各活動の概要

○ヒートアイランド現象調査（意識を高める）

全校生徒・教職員による「ヒートアイランド現象調査」は、生徒は自宅で教職員は測定が不十分な地点で、同日、同時刻に一斉に気温を測定、それらを地図上に落とし、自分たちが住んでいる地域で、ヒートアイランド現象が見られるかを調査する参加型の調査である。調査にあたっては地元企業と連携している。本調査にあたっては、事前に器差補正や予備調査を行い、可能な限り正確なデータが取れるようにしている。得られたデータは解説をつけて、ホームページや文化祭等で発表している。ESDにおける環境教育では生徒の主体的参加とそれを通じた行動変容が求められている。そのため、本調査は環境問題に対する意識を高めていくことを目的とし、調査の結果よりも過程を重視して行っている。

○環境リーダー養成研修（生徒主体の活動へ）

生徒主体の取り組みを実現するため「環境リーダー養成研修」を実施している。国立大洲青少年交流の家を会場にして学校ではできない体験活動を中心とした学習を行っている。地元で環境保護活動を行っているNGO団体と連携して自然観察を行ったり、カヌー活動（肱川観察）などを行ったりしている。各活動の後には「ふりかえり」をきちんと行うことで体験からの学びの定着を図っている。また体験活動をもとにした「私たち高校生にできること」を中心としたワークショップも行っている。本研修は、1泊2日の日程で行っているため、参加生徒のヨコのつながりもでき、その後の生徒主体の活動につながっている。

○節電・節水活動／中庭整備活動（意識から行動へ）

研修に参加した環境リーダーや環境委員を中心に、「さくらい環境宣言」を発し、校内放送や環境だよりの発行、見える化グラフの作成などを通して全校生徒・教職員による節電・節水活動に取り組んでいる。環境リーダーたちを中心に話し合った結果、自分たちにできることは生徒たちに呼びかけてどんどん実践していこうということになり、水の出し方に気をつけたり、移動教室の際の消灯を確実にしたりするなど具体的に行っていた。例年参加しているCO2削減コンテスト（香川県地球温暖化防止活動推進センター主催）参加期間（平成24年9～11月）には、電気使用量は前年度比14%削減、（水道使用量はプールの改修工事のため若干増加したが、改修工事がない例年だと約プール1杯分の減）となり、効果が見られた。また、「中庭環境整備活動（池清掃活動や花時計整備活動）」などにも生徒たちが自主的に取り組んでいる。「中庭環境整備活動」も参加者が少しずつ増加している。意識から行動へとつなげていきたい。

○地域と連携した活動（学校から家庭・地域へ）

環境問題に対する取り組みを学校の中だけに終わらせず、家庭・地域へと広げるため、生徒たちが地域で活動できる機会を設けている。EM泥だんごを使ったため池浄化作戦への参加や地域一斉清掃への参加などである。環境活動に関する地域との連携に加え、ESDで必要とされる「自ら主体的に学び、考え、行動する」生徒の育成という観点からも地域のコミュニティーセンターや保育所、小学校、高齢者福祉施設等と連携したボランティア活動も行っている。「開かれた学校」作りが言われて久しいが、地域に開かれた学校

という視点に加え、学校から家庭・地域への情報発信という視点も必要ではないかと考えている。今後、推進していきたい活動の一つである。

○各研修への参加

今年度は、第 68 回ユネスコ運動全国大会 in 高松(平成 24 年 9 月 15 日(土))と国際教育オープンフォーラム(平成 24 年 12 月 15 日(土))に参加し、国際教育オープンフォーラムでは取り組みに関する発表もさせていただきました。

○普及活動

「ヒートアイランド現象調査」については、本校HPに調査の目的・内容・方法・結果等について掲載するとともに、地域の方々が来られる文化祭で発表している。「環境リーダー養成研修」についても同様である。その他の活動についても可能な限りHPに掲載している。また、昨年度のユネスコスクール研修会に続き、今年度は国際教育オープンフォーラムで発表させていただきました。

○評価

本校は、環境教育活動を中心にESDを行っているが、特別活動部の今年度の重点目標の一つを「環境リーダーを中心とした環境委員会の取り組みの充実を図る」とし、具体的取り組みとして、①生徒主体のヒートアイランド現象調査を実施すること、②体験型研修活動を通して環境リーダーを養成すること、③生徒主体の環境活動を行うこと、を挙げた。その上で、評価項目として「環境問題を意識し、改善活動に積極的に取り組むことができた」という生徒が 80%を越えることという高い数値目標を挙げた。

アンケート結果は、活動の結果、「意識が高まった」は 70%、「改善活動に積極的に取り組むことができた」は 49%となった。活動の結果、意識が高まった生徒は多いが、行動にまで結びついていない生徒がまだまだ少ないことが分かり、「意識からどのように行動に結びつけていくか」が今後の教育活動の課題であることが分かった。また、行動にまで結びついていない生徒に「家庭や地域での行動に結びついていきますか」と聞いたところ 86%の生徒が「はい」と答えているところからも学校での教育活動において、「意識から行動へ」と結びつけられるような活動をすることの重要性が見て取れた。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料(新聞、出版物など) □ CD-ROM ■ 写真
□ その他()